

KYOCERA

1999 October No.2

IMPLANT TODAY

発行：京セラ株式会社

KDNet Information

KDNetは、インプラントに関する幅広い情報を、京セラが先生方に、インターネットを通じて、リアルタイムで提供するサービスです。

このサービスは入会の手続きだけで、入会金はもちろんのこと、接続料も無料をご利用いただけます。会員の方には、一般の方もご覧になれるページに、医院広告や先生のホームページを掲載する特典が与えられています。

また、スタディーグループ単位でご入会いただきますと、会の運営をお手伝いするサービスをご提供いたします。ぜひ、KDNetをご活用してください。

会員ページ

NEWS

- POI System研修会案内など

医療情報

臨床のQ&A、ラボワークQ&A、オンラインセミナー、アシスタントセミナー

データライブラリー

患者説明用画像集、文献データベース、学会情報、雑誌情報

症例相談(有料)

経験豊富なPOIシステム・インストラクターの先生方に、オンライン上で、インプラント治療に関して、ご相談いただけます。画像データもご利用いただけます。

専用会議室(有料)

スタディーグループ向けにグループ・メンバーのみご利用いただける専用の会議室をご用意します。

メール送信サービス

一般向けページ

医院広告



CONTENTS

KDNet Information ————— 1

- 入会のご案内

POI Instructor Interview ——— 2,3

「最初の1症例と長期症例に学ぶこと」
京都インプラント研究所所長 山上哲賢

Case Report ————— 4,5

「審美アバットメントの臨床応用について」
福岡県宗像郡開業 水上哲也

POI System Implant Course — 6,7

- 歯科医師のためのコース
- 歯科衛生士のためのコース
- 歯科技工士のためのコース
- 開催日程
- POI Systemインストラクター紹介

POI System Information ——— 8

- POIツールケース新発売
- POIシステム情報

KDNet

It's a useful piece of information
<http://www.kdnet.ne.jp/>

入会方法

お問い合わせ
E-Mail: office@kdnet.ne.jp
KDNetホームページ: <http://www.kdnet.ne.jp>

入会申込書に記入
(京セラより送付)

返信

ID・パスワード
(運営センターより連絡)

POI Instructor Interview

最初の1症例と長期症例に学ぶこと

京都インプラント研究所所長 山上哲賢



最初に私とインプラントの出会いについて述べたいと思う。1963年大阪歯科大学卒業後、歯科理工学講座・川原春幸先生の研究に興味を持ち在籍させてもらった。研究は細胞培養法を応用した生体材料の研究であった。当時、歯学領域で細胞培養法を応用した研究は最先端研究法で非常に少なかった。

インプラントについては1970年Dr.T.T.DAJDAが来日され大阪歯科大学でインプラントの臨床についての講演があり、初めてその状況を知らされた。しかし、本当に成功するものかどうか半信半疑であった。そこで1970年末シドニー大学であったオーストラリア・インプラント学会主催のインプラントコースに参加し、また生体材料について講演をさせても

らった。

その後シドニー市内で開業し、インプラントを行っている先生方を訪問した。

インプラントについて懐疑的であった私にとって、インプラントを入れている患者の喜びを見て、ぜひ将来インプラントを臨床に取り入れたいと思った。

当時まだ、インプラント器具材料は日本に輸入されておらず、オーストラリアで購入したのを使いCo-Cr-Mo合金(BIONIUM[®])で自家製プレートタイプインプラントを始めて施術した。この第1号患者の思い出を述べることにしたい。

患者、25才、主婦、67 欠損

1973年3月27日67部に自家製プレートタイプをインプラント施術した。

578ブリッジとしたが2年後8抜歯 457ブリッジにする。(図1)1997年5歯根破折にて抜歯、現在局部床義歯によるオーバーレイデンチャーにしている。今後5にPOI 2ピースインプラントを施術予定である。(図2、3)

本症例を施術した頃は大学に勤務しながら夜間開業をしていた時期で乾熱滅菌器、オートクレーブなどは持っていなかった。そこでインプラント器具を大学で滅菌し、バキュームもない立位型のチェアでインプラントを行った。もちろんパノラマレントゲンもなかった。

今考えると冷や汗ものである。もしこの患者のインプラントが失敗していたら、インプラントを臨床に取り入れることはなかったと思う。

反省点はインプラントと連結した歯牙8に問題があった。最初から457のブリッジにすべきであった。現在であれば67部にPOIインプラントを2~3本インプラントすれば十分である。



図1



図2



図3

患者、49才、主婦、764 欠損

その後Lewのscrew, Linkow Bladeほかを使用したが、1973年頃、京セラBIOCERAM研究開発チームの一員となり、1975年BIOCERAM 1号患者は受付の女性のお母様であった。その時は大学を辞め開業していたので、パノラマレントゲン、各種滅菌器具もそろえていた。しかし、現在のような低速・高トルクエンジンはなかったが、できるだけ低速にし注水を十分行った。

主訴はブリッジフテキ(図4)、咬合痛であった。

1975年9月3日6部にBIOCERAM 3mm(図5)プリム付インプラントを2本施術 ④⑤④③ブリッジとした。

1988年9月22日施術後13年間経過。(図6)

1995年11月13日5歯周疾患により抜歯、⑥⑦インプラント上にオーバーレイデンチャーを入れる。(図7)

患者は約10年前よりパーキンソン氏病になり現在来院が困難な状態になっている。

本来ならば5を矯正にて、咬合力が垂直にかかるように術前処置をすべきであったが、よく20年間機能したものだと思う。1975年頃のインプラントは3~5年もてば成功と言われた時代であった。



図4



図5



図6

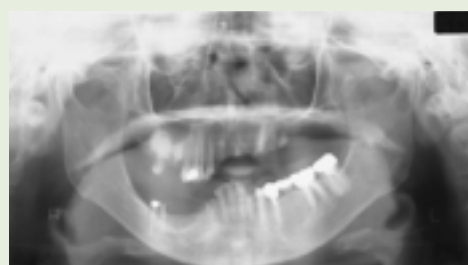


図7

これら2症例からインプラントと連結する歯牙の運命にインプラントが左右されることがわかる。現在は単独植立できる時代になって来たが隣接歯牙を長期間健康な状態に保つことがインプラントを長期間機能させることになることを意識し、メンテナンスに患者、術者共々努力することが大切である。また、患者は高齢になり有病者となることも忘れてはならない。

今後共、患者のインプラントによる“喜びと幸せ”を励みに努力したく思っている。



Case Report

審美アバットメントの臨床応用について

福岡県宗像郡開業 水上 哲也



<はじめに>

インプラント療法はもはや臨床のオプションとしてその地位を不動のものとしてつあるように感じられる。そして現在はインテグレーションの確立といったテーマから適応性の拡大、審美性の追及、そしてより早い治療期間といった方向へ目が向けられているようだ。

ブリッジによる修復に対してインプラントを選択することの最大のメリットは両隣在歯を削合しないということであるがその反面審美的にはどうしてもブリッジに劣りがちであった。

しかしながら患者、術者共に審美的な要求が高まっている昨今、インプラントによる修復に対してもブリッジと同等あるいはそれ以上の審美性が要求されるようになってきた。従って、その目的上フィクスチャー埋入から最終補綴物が装着されるに至るまでに審美的な修復物を与えるための工夫が必要となっている。そのような背景から今回、京セラから新しいアバットメントとして角度付きアバットメントである審美アバットメントが製品化され、筆者も早速臨床応用し良好な経過を得たので報告する。

審美アバットメントの形状種類

図1

基本的にはポストアバットメントに角度がついた形となっている。歯頸部の角度は15度、25度の2種類がありそれぞれ口蓋側歯頸部の高さが1mm、2mm(唇頬側にそれぞれ2mm、3mm)のもが用意されている。形状はショルダーの幅を確保するため唇側あるいは頬側に向かって少し突き出た形となっており、この点が最終的にマージン部歯肉のマネージメントに問題をきたすことから今後の改良が望まれるところである。

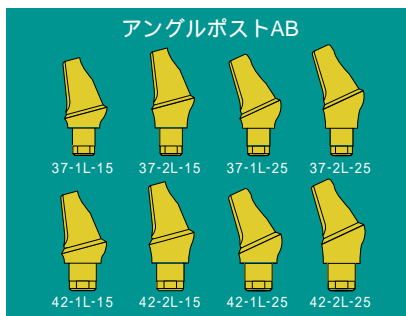


図1

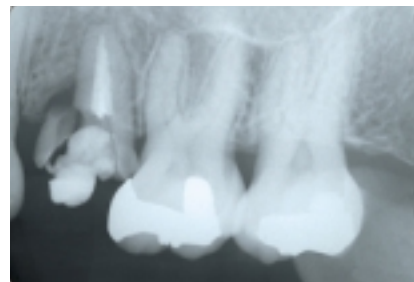


図2-1:術前のX線写真
5は破折しておりそのまま抜歯するとかなりの骨喪失が予想される。

角度付アバットメントの臨床応用

図2-1 ~ 図2-8

患者さんは43歳の女性で4歯牙破折により抜歯となったが、以前他院にて矯正治療を受けたことから天然歯を削合したくないという理由でインプラント植立を希望された。埋入に先立ち骨の喪失を最小限にとどめるため、歯牙の挺出や抜歯窩へのコラーゲン填入などを行った。

4の欠損部分は近遠心的に少し広がっていたため若干深めの埋入を行った。ヒーリングアバットメントを用いず一次手術の際にトランスファーされた模型上にて調整した審美アバットメントならびにテンポラリークラウンを装着し歯肉の形態を整えるように試みた。



図2-2:抜歯に先立ちエクストルージョンをしているところ。



図2-3:フィクスチャー埋入時にステントにドライバアタッチメントをパターンレジンにて固定し歯牙との位置関係を記録しておく。



図2-4:二次手術時、フィクスチャーは骨で覆われていた。

このステップにおいては、今回用いた二次手術時において審美アバットメントを装着する方法と、ヒーリングアバットメントを装着し歯肉が落ち着いてから審美アバットメントを用いる方法に分けられる。軟組織のマネージメントは難しく、予想が困難なことからするとヒーリングアバットメントを用いたほうが無難と思える。しかしながらヒーリングアバットメントを用いた場合、通法のスタンダードアバットメントにアングルポストを立てる方法にほとんど変わり無く、メリットが少なくなるのも事実である。

GBR法と角度付アバットメント

インプラント植立に関して言えば補綴修復を考えた埋入といったいわゆる補綴主導型の植立へ時代の流れが移ってきている。従って埋入に際しては骨幅の改善などの処置が必要となってくる。

そのような背景のもと現在GBR法がさかんに行われているようになってきている。

図3-1、2

その結果、ややもすると従来のように角度のついたアバットメントやポストはだんだん必要とされなくなってくるのではないかという極端な意見も生ずるところであろう。

しかしながら膜を使った治療は依然としてリスクを背負った治療法であることも忘れてはならない。

ポストアバットメントとの比較

ポストアバットメント及び審美アバットメントは共にアバットメントとポストが一体化しており、通法のスタンダードアバットメントより接合部が一カ所少なくなった形となっている。

また、ショルダー部を付けることで歯頸部の立ち上がりもスムーズになっておりX線写真上でも滑らかなカーブを描いた形状となっている。

ポストアバットメントはその断面形状により、下顎小臼歯ならびに下顎犬歯が最適と思われる。それに対して審美アバットメントは上顎前歯ならびに犬歯が適応であろう。上顎小臼歯に関してはその骨幅等の歯槽堤側の条件と、咬合関係の条件とによりその何れかを選択するべきであろう。

図3-3、4

今後の臨床応用と課題について

今回、接合部の問題、上皮のダウングロースの問題という点を重視してヒーリングアバットメントを用いず審美アバットメントを装着し歯肉のマネージメントで対応する方法を探したが、一般的に歯肉の最終形態の予想は難しくいわゆる「ねらったポイントに「ねらった形態」を付与することは難しい。そのようなことから一旦ヒーリングアバットメントを装着しておいた方が無難と思える。

概して日本人は粘膜が薄い傾向にあるためUCLAアバットメントをはじめフィクスチャーからダイレクトに立ち上がる補綴物が審美修復として汎用される要因となっている。

今回も歯頸部の突出した部分が出ないように結合組織移植を同



図2-5:審美アバットメントを装着この後テンポラリークラウンを装着し歯肉の形態を誘導した。



図2-6:術後一週間、頬側は結合組織移植を行うと同時に弁を若干根尖側に移動させた。



図2-7:最終補綴物装着時。歯肉はこれからまだ変化すると思われる。



図2-8:X線写真ではほぼ良好に経過していると思われる。移行部はスムーズである。尚フィクスチャーはソケットリフトしている。



図3-1:骨幅は不足しておりこのままではインプラント埋入はできない。



図3-2:GBR法にて骨幅の増大を行った後にフィクスチャーを埋入。



図3-3:術前の左側側面観。



図3-4:術後の左側側面観。L4はポストアバットメントを応用し最終補綴物を装着した。

時に行うなどの配慮が必要であった。ポストアバットメントは高さ1ミリのものがあるため歯肉の薄い場合には対応が容易となっているが審美アバットメントも丈の低い1ミリのものがあれば良いと思う。

冒頭に少し述べたように、インプラントも、もう植立してインテグレーションするというだけでは済まない時代になってきた。特に前歯部、小臼歯部においてはますます審美性の要求といった事が重要になってくるであろう。

そのようなことから審美的な補綴修復のためのパーツは非常に大切になっている。メーカーの今後の開発、改良に期待したいと思う。そして我々ドクターサイドの問題としてはより審美的な結果を得るために、より確実で予知性のある術式を習得する必要があるとますます痛切している。

POI System Implant Course

歯科医師のためのコース

ベーシックⅠコース 1日間	<p>これからインプラントを始めようとお考えの先生に、POIシステムについて、顎模型を用いた植立実習などを交えながら、わかりやすく解説します。</p> <p>研修内容 インプラント基礎知識・外科術式(植立実習)症例紹介・システム概要・補綴術式・質疑応答・検査 診断</p> <p>参加費 ¥70,000(教材費・実習費・昼食費及び消費税を含む) 定員 15名</p>
ベーシックⅡコース (オペ見学付き)2日間	<p>ベーシック1コースと同じ内容の講義及び模型実習に加え、ライブオペの見学を通じてより理解を深めていただけます。</p> <p>参加費 ¥90,000(教材費・実習費・昼食費及び消費税を含む) 定員 10名</p>
手術見学コース 半日間	<p>ライブオペを見学していただけます。手術に添って、各ステップを解説します。</p> <p>参加費 ¥30,000(消費税を含む) 定員 10名</p>
アドバンス補綴コース 1日間	<p>POIシステムは少ないパーツ類で、様々な症例に合った形態の上部構造を作製することが可能です。このコースでは印象方法や多数歯に及ぶ欠損症例での上部構造作製について詳しく解説します。</p> <p>研修内容 可撤性補綴物の作製・前歯部補綴物の作製・間接印象・質疑応答</p> <p>参加費 ¥30,000(教材費・昼食費及び消費税を含む) 定員 20名</p>
アドバンス診断コース 1日間	<p>インプラント治療で重要な診断及び臨床設計について詳しく解説します。</p> <p>研修内容 レントゲン読影・フィクスチャーの選択・口腔内診査・臨床設計等</p> <p>参加費 ¥30,000(教材費・昼食費及び消費税を含む) 定員 20名</p>

POI Systemインストラクター紹介



泉 照雄 先生
富山市開業



市之川 浩 先生
東京歯科大学
歯科保存学 第一講座



糸瀬 正通 先生
福岡市開業



岩淵 良幸 先生
福島市開業



江原 雄二先生
大阪市開業



岡村 浩人 先生
東京都豊島区開業



高木 幸人 先生
山形市開業



高階 光博 先生
神奈川県横浜市開業



田中 寛 先生
秋田市開業



多和田 泰之 先生
日本歯科大学 新潟歯学部
歯科補綴学教室 第二講座



張 在光 先生
福岡市開業



陳 正和 先生
京都市開業

先生方のニーズに合わせ、経験豊かな講師による
各種研修会を全国各地で開催しています。

KYOCERA
IMPLANT TODAY

歯科衛生士のためのコース

アシスタントコース 1日間	インプラント治療における、歯科衛生士の役割を中心に解説します。	定員 30名
	参加費 ¥15,000(昼食費及び消費税を含む)	

歯科技工士のためのコース

テクニシャンコース 1日間	POIシステムの上部構造作製について詳しく解説します。
	参加費 ¥15,000(昼食費及び消費税を含む)

開催日程

コース内容	ベーシック I コース					
日 程	10月24日(日)	11月14日(日)	11月14日(日)	11月21日(日)	11月28日(日)	1月9日(日)
開催地	名古屋	金沢	広島	東京	鹿児島	東京

コース内容	手術見学コース		アドバンス補綴コース	アドバンス診断コース	アシスタントコース		テクニシャンコース	
日 程	10月24日(日)	11月3日(祝)	1月10日(祝)	10月31日(日)	11月13日(土)	11月21日(日)	12月5日(日)	11月14日(日)
開催地	大阪	東京	東京	大阪	鹿児島	福岡	東京	鹿児島

コースの開催日程は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



越智 守生 先生
北海道医療大学歯学部
歯科補綴学 第二講座



覚本 嘉美 先生
栃木県小山市開業



久保田 晃 先生
愛媛県宇和島市開業



元 永三 先生
福岡市開業



小松 繁樹 先生
日本歯科大学 新潟歯学部
歯科補綴学教室 第二講座



杉山 貴彦 先生
新潟県西蒲原郡開業



中川 寛一 先生
東京歯科大学
歯科保存学 第一講座



水上 哲也 先生
福岡県宗像郡開業



村井 健二 先生
京都市開業



山上 哲賢 先生
京都市開業



湯澤 邦裕 先生
栃木県今市市開業



吉竹 賢祐 先生
大阪府吹田市開業

POI System Information

POIツールケース新発売!!

POIツールケースは、POIシステム専用手術器具を全て収納でき、そのままオートクレープで滅菌できます。また、半透明の専用カバーを使用しているため、カバーをつけたままで、ケース内の器具を確認できます。

POIツールケース
BDM 01200 標準価格78,000円

寸法:幅176mm×奥行290mm×高さ64mm
ご使用の滅菌器の収納サイズをご確認下さい。



手術手順に合わせ
器具を配置

フィクスチャーサイズに
合わせ、ドリルコーナーを
カラー表示

耐熱プラスチックを採用
(オートクレープ滅菌可)

ユーティリティー
ボックス付き

POIシステム情報

ラッピングツール

ラッピングツールはプラスチックコネクターR/STを用いて作製された、アングルポストや上部構造物の調整、研磨を行うためのツールです。

ラッピングドライバー A



アクセスホール内部の小突起除去
コロナルスクリュー座面接地部の調整

ラッピングドライバー B (R)/(ST)



フィクスチャーとコネクターとの接合面の調整

ポリッシングプロテクター (R)/(ST)



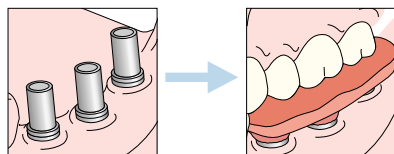
研磨時におけるコネクター嵌合部の保護

品名	標準価格	商品NO	梱包形態
ラッピングドライバー A	7,000円	BDO 08050	1個入
ラッピングドライバー B(R)	5,000円	BDO 08060	1個入
ラッピングドライバー B(ST)	5,000円	BDO 08070	1個入
ポリッシングプロテクター (R)	5,000円	BDO 08080	5個入
ポリッシングプロテクター (ST)	5,000円	BDO 08090	5個入
ラッピングツールセット R	13,000円	BDO 08030	ラッピングドライバー A ラッピングドライバー B(R) ポリッシングプロテクター (R) 各1個入
ラッピングツールセット ST	13,000円	BDO 08040	ラッピングドライバー A ラッピングドライバー B(ST) ポリッシングプロテクター (ST) 各1個入

(医療用具許可番号 25BZ0034)

バイトビルダー

バイトビルダーは、通常の咬合採得が困難な場合に、アナログ模型上で前もって調整を行った後に、口腔内でフィクスチャーに装着し咬合採得を行います。



バイトビルダー

品名	標準価格	商品NO	梱包形態
バイトビルダー	18,000円	BDO 08020	5個入

(医療用具許可番号 25BZ0034)



京セラ株式会社

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6

<http://www.kyocera.co.jp/>

KYOCERA

バイオセラム事業部

製品に関するお問い合わせは下記へ

東京営業所 〒150-8303 東京都渋谷区神宮前6-27-8(京セラ原宿ビル2F) TEL 03-3797-4616 FAX 03-3400-1870

京都営業所 〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 TEL 075-604-3449 FAX 075-604-3450

大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24(新大阪第一生命ビル3F) TEL 06-6350-4696 FAX 06-6397-8233

九州営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11(山善福岡ビル) TEL 092-472-6933 FAX 092-472-6938

このカタログは Recycled Paper を使用しています。